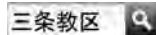


# 三条教区通信

第90・91合併号

発行日 2014年12月25日  
発行者 三条教務所長 池守章  
発行所 真宗大谷派三条教務所  
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57  
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp  
ホームページ: www.gobosama.net



## 今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

えいえん よ どころ  
永遠の拠り所を  
あた  
与えてくださるのが  
なむあみだぶつ  
南無阿弥陀仏の  
せいかつ  
生活である

ばんどうしようじゅん  
坂東性純

The life of Namu-Amida-Butsu endows us with an everlasting foundation.

Bandō Shōjun

## 年頭のご挨拶

三条教務所長 池守章

2015年の新しい年を迎え、三条教区の皆さまにご挨拶を申し上げます。

三条教区の皆様には、日頃より真宗興隆、「法義相統・本廟護持」の為の相続講活動、更には「宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要」厳修に向け、一方ならぬご尽力をいただいておりますこと、改めて厚く御礼申し上げます。

昨年六月末の人事異動により三条教区にご縁をいただき、約六ヶ月余りが経過いたしました。この間、皆様には、文字通り大所高所からのご高配とご助言を頂戴いたしましたお陰をもちまして、どうか年越しをさせていただきました。この上とも、皆様からの更なるご教導ご鞭撻を賜り、宗祖親鸞聖人の御遠忌法要厳修の意義を頭らかにする様々な事業に専念いたしてまいりたく存じます。

さて、先般、京都ご本山に上山いたし、前任地でお世話になったある先生のお話を聞きました。先生が「生きるとは、歩むこと」であると述べられた言葉が印象的でありましたが、同時に思いました事で、「こんな人生を送れ

ば良いな」と思った事がありましたので、お話しさせていただきます。

仏教発祥の地であるインドにおいて、人の一生をどのように捉えているのかと申しますと、誕生して25歳までは、さまざまな事を学びトレーニングを積むための学生期(がくしょうき)。50歳までが、結婚して子供をもうけて家族を持つ、社会人、家庭人としてもっとも多忙な時期を家住期(かじゅうき)。50歳を過ぎたら人生を振り返り、人のためになることをする。心掛ける。林住期(りんじゅうき)と位置づけます。そして75歳からは、とことん自分を見つめる「遊行期(ゆぎょうき)であり、いつ来るかもしれない死の前に自然に回帰していく時期となる考え方であります。

本年、52歳になる自分は、人生を振り返り、見つめ直す。そして、当然のことながら、これから年を重ね経ると言うことは身体も不自由になって、記憶もどんどん脱落していきます。しかし、体が不自由になり、記憶は脱落していくけれど、考え方・見方を変えれば、余分な動きはしなくなるし、記憶は整理され大事な核心を選択していくのではないかと思っています。

法然上人は「選択」と言う言葉を使用して「選択本願念仏集」を書かれ、念仏を申していく覚悟を表明されました。

また、親鸞聖人は心の据わりを『歎異抄第2章』に「たとい、法然聖人にすかされまいらせて、念仏して地獄におちたりとも、さらに後悔すべからずそうろう」と申され、地獄に落ちて後悔しないほど、間違いのない本願念仏の教えに遇った確信を申されています。

なかなか、選択された一筋の覚悟と確信を持つことが出来ませんが、親鸞聖人が隣におられると思い、「覚悟・心の据わり」をいただく生き方、すなわち「生まれた意義と生きる喜び」を聞いてまいる日々を過し、教区・別院宗祖御遠忌法要を勤めて参りたいと存じます。

2015年は、待ちに待った教区・別院宗祖御遠忌法要厳修の年であり、より一層具体的な取り組みが進められることであります。皆様の力強い推進力を引き続き頂きつつ、絶大なるご協力ご支援を賜りながら共に歩ませていただきたくお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

以上

## 御遠忌実行委員会のお知らせ

三条教区・三条別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要  
2015年5月19日から24日まで厳修  
御遠忌法要まで あと145日

### 親鸞聖人讃仰講演会の開催

親鸞聖人讃仰講演会第3回が2015年1月24日(土)13時半より開催されます(2014年11月から2015年4月まで全6回開催)。

今回は、祖父江佳乃氏(名古屋教区第23組有隣寺住職)をお招きし、「今を生きる 親鸞聖人御一代記より『念仏停止の法難』(節談説教)」という講題でお話を頂きます。

祖父江佳乃氏は、説教の名手であった故・祖父江省念氏を祖父に持ち、祖父と同じ説教の道を歩んでおられます。この機会に、是非聴聞ください。

みなさまのご参加をお待ちしております。

## 三条教区災害対策委員会のお知らせ

皆様にご協力いただいております三条教区独自の東日本大震災救援金は、2014年12月25日現在、総額14,162,478円となりました。

これまでの救援金寄託状況及び復興支援活動資金の使用状況は以下のとおりです。

2,000,000円 東京教区 2012年2月14日

10,000,000円 仙台教区 2012年4月13日

1,170,237円 東日本大震災復興支援活動資金

ご報告いたしますとともに、さらなるご協力をお願い申し上げます。

## 研修会のご案内

### ■ 教区坊守研修会に参加して

第12組勝覚寺坊守 草間祐子

12月12日、リニューアルされた旧御堂で、講師に金沢教区の藤原千佳子氏を迎え、研修することができました。父は藤原正遠師、祖父は、「加賀の三羽鳥」の一人藤原鉄乗師であるだけに、一つ一つの言葉が仏法に聞こえるそんな印象を受けました。

テーマは「現代を生きる」。門徒の寺離れという危機的状況を抱える今日、坊守として、何をすればいいのか、真宗聖典よりヒントをいただきました。

蓮如上人の御掟に、「仏法のことをいうに、世間のことにとりなすひとのみなり。それを退屈せずして、また、仏法のことにとりなせ」と、おおせられ候うなり。

(『蓮如上人御一代記聞書 56 聖典 866 頁』)



講師の藤原千佳子氏(金沢教区浄秀寺)

暖かく椅子席の旧御堂で、昼食後、語ろう会が開かれました。いつもの様にテーマは設けませんでした。あつという間の一時間で、どのグループも大いに盛り上がりました。自分を開かなければ、寺は開けない。そういう意味で有意義な時間であったと思います。



語ろう会の様子(三条別院 旧御堂)

寺の坊守は、御門徒一人一人と話ができるやりがいのある仕事です。しかし、他の職業と同じように、躓くこともあるし、悲しい思いをすることもあります。そんな時、この日いただいた言葉を思い出したいと思います。

今が一番いい時 今が一番大事な時

ここが一番いい所 ここが一番大事な所

## 教務所からのお知らせ

### ◎ ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗派が1951年11月よりラジオ伝道として放送している「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きいただけます。

○講 師 11/16～12/27 五辻文昭(岐阜県 本浄寺)  
12/28～12/31 乾 文雄(京都 大谷高等学校)  
2015/1/8～2/14 同上

1/1～1/7 里雄康意(真宗大谷派宗務総長)

○テーマ「現代と親鸞」

○放送局 BSN新潟放送 1116 kHz AM

\*新潟県全域をカバー

・小出エリア 1026KHz

・中越エリア 1062KHz

・下越エリア 1116KHz

- ・塩沢エリア 1485KHz
- ・上越エリア 1530KHz

○時 間 毎週金曜日午前 5:00～5:10  
 ○提 供 吉運堂 様

◎ 教務所事務休暇について

2014年12月27日(土)から2015年1月6日まで、教務所事務休暇とさせていただきます。ご不便をおかけし申し訳ありませんが何とぞご容赦くださいますようお願いいたします。

◎ 組門徒会員の選定について

本号同時発送の三条教発第335号「組門徒会員の任期満了に伴う改選について」にてお知らせしておりますとおり、組門徒会員の任期が2015年3月9日をもって満了いたします。

つきましては、貴寺院・教会におかれましても、組門徒会員を選定くださり、所定の用紙にて組長までご報告くださいますようお願いいたします。選定報告の期限につきましては、三条教発第335号をご参照ください。

なお、このたび宗門活動のさらなる活性化につなげるため、女性の宗門活動への積極的な参画を実現する「男女共同参画推進に向けた組門徒会員選定に関する特別措置条例」が定められました。同時発送の「組門徒会員選定に関するしおり」をご活用いただき、女性組門徒会員の選出について、是非ともご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

また、『同朋新聞』新年1月号に、三条教区において活躍されている女性組門徒会員のお一人である小林ミツ子さん(第23組慶恩寺)と川崎正利住職のインタビュー記事が掲載されます。こちららどうぞご紹介ください。

◎ 教区行事予定表

2015年	
1/7(水)	教務所事務初め
1/8(木) 14:00	教化センター
16:00	教行信証 輪読会(教学研究会部)
1/13(火) 14:00	差別と真宗・靖国問題研修会部門合同会議 青少年3部門合同会議
1/14(水) 14:00	(遠)広報部会 (遠)親鸞聖人顕彰会議 三条真宗学院指導会議
1/15(木) 14:00	教化センター
1/16(金) 16:00	声明講習会部門会議
1/19(月) 14:00	災害支援実行委員会
1/20(火) 16:00	如来会学習会
1/21(水) 14:00	企画委員会
1/22(木) 14:00	(遠)助音研修会 教化センター
1/24(土) 13:30	(遠)親鸞聖人讃仰講演会③(祖父江佳乃氏)
1/26(月) 15:00	同朋の会教導連絡協議会総会
1/29(木) 13:30	教区坊守会役員会
2/7(土) 11:05	(遠)「いのちの駒札」TV番組放送日 NST

2/12(木) 14:00	教化センター
2/19(木) 14:00	教化センター
2/24(火) 10:00	推連協役員会
2/25(水) 14:00	企画委員会
2/26(木) 14:00	(遠)助音研修会 教化センター
3/4(水) 13:30	(遠)親鸞聖人讃仰講演会④(太田浩史氏)
3/7(土) 13:30	真宗学院特別講義3
3/10(火) 14:00	(遠)助音研修会
3/12(木) 14:00	教化センター
3/19(木) 14:00	教化センター
3/24(火) 13:30	(遠)親鸞聖人讃仰講演会⑤(玉光順正氏)
3/25(水) 14:00	企画委員会
3/26(木) 14:00	教化センター
4/4(土)	～5(日) (遠)子ども御遠忌
4/7(火) 14:00	(遠)助音研修会
4/9(木) 14:00	教化センター
4/11(土) 13:30	(遠)親鸞聖人讃仰講演会⑥(三木彰円氏)
4/16(木) 14:00	教化センター
4/22(水) 14:00	企画委員会
4/23(木) 14:00	教化センター
5/19(火)	～24(日)教区別院宗祖御遠忌法要

(遠)は三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌実行委員会関連であることを示します。

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれています。また、日程は変更される場合があります。

新潟親鸞学会からのお知らせ

●親鸞聖人越後御旧跡奉賛会へ寄贈

一昨年に結成された親鸞聖人越後御旧跡奉賛会(古海法雲会長)は、現在、御旧跡寺院 25ヶ寺、賛助会員 12名、ホテルやエージェント等 10社で運営されています。当会がその結成を促進したこともあり、また今後、御旧跡顕彰を担う会でもあることから、新潟親鸞学会では「なむの大地」展の剰余金 30万円を奉賛会へ寄贈いたしました。

奉賛会事務局では、それをもとにして、ホームページを開設したいと準備を進めています。

・奉賛会第2回総会開催

なお、奉賛会の第2回総会は、昨年9月30日に赤倉温泉のホテル太閣で開催されました。記念講演は富沢慶栄師で「越後から親鸞を発信するネットワークを目指して一来るひとを待つ在り方から、打って出る伝道への転換—」との題で講話がありました。

【新潟親鸞学会入会の申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄  
 〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783 超願寺内  
 ☎025-222-2820 FAX 025-222-2830  
 Eメール choganji@nifty.com  
 新潟親鸞学会デスク(ブログ):  
<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog>